

カキラン(ラン 科)

Epipactis thunbergii A.Gray

兵庫県：Cランク

環境省：-

種の概要

日当たりのよい湿地にはえる。根茎は横にはい、節から根を出す。茎は高さ30-70cm、平滑、基部は紫色を帯び、少数の鞘状葉に包まれる。葉は5-10枚つき、狭卵形で、長さ7-12cm、幅2-4cm、いちじるしい縦脈があり、基部は短い鞘となり茎を抱く。6-8月、黄褐色の10個あまりの花がつく。萼片は狭長卵形で、鋭頭、長さ12-15mm。側花弁は卵形で、鈍頭、萼片とほぼ同長。唇弁は側花弁と同長、内面に紅紫色斑があり、関節によって上下2唇にわかれ、下唇は倒心形で内面は凹入し、上唇は広卵形で基部に3隆条がある。蕊柱は唇弁の上に乗りがかり、長さ7mm。葯は卵形淡緑色。葯は2室で、各室に2個の花粉塊がある。

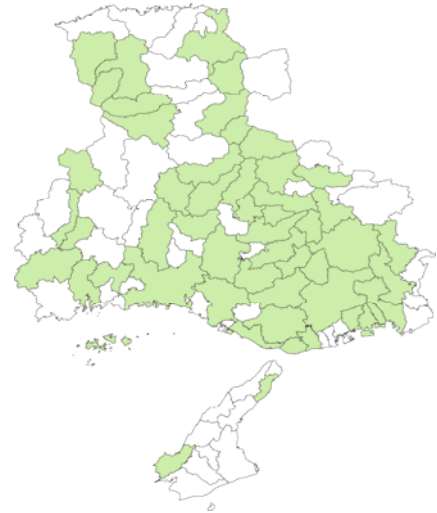
(画像無し)

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布

温泉町、村岡町、美方町、豊岡市、出石町、関宮町、大屋町、和田山町、山東町、生野町、千種町、南光町、三日月町、上郡町、相生市、龍野市、家島町、夢前町、大河内町、神崎町、市川町、姫路市、加美町、中町、黒田庄町、西脇市、加西市、社町、東条町、小野市、吉川町、三木市、加古川市、明石市、青垣町、氷上町、春日町、山南町、丹南町、今田町、三田市、神戸市、猪名川町、宝塚市、芦屋市



選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
○	○					○

特記事項

特になし

保護上の留意点

生育地の保全